

『一生懸命』幻の新座市議会報告第158弾!



たかむらともや

2018年3月31日発行

反対!

市民と語る会(木村・高邑)は30年度の「一般会計予算」に反対しました。市民の税金が大型事業に集中したことが一番の問題です。新座駅北口に105億、大和田二・三丁目に150億志木駅南口に20億というように、ここ数年、限られた財源が大型事業に集中しているのです。

市長も議員も選挙の時には「待機児童の解消」を公約として掲げていたと思いますが、全く無理な話です。大型事業を同時に進行することで「財政難」を作り出し、その結果、今回の予算では「教育予算」「福祉予算」が削られているのです。その上、来る見込みのない「地下鉄12号線基金」に5億も積んだままなのですから、どうかしています。「待機児童」は今、解決しなければ意味がないのです。地下鉄12号線は99%来ないと思いますが、仮に来たとしても今待機している児童達はおじいちゃん、おばあちゃんになっているでしょう。

予算案に賛成した人たちには5億も死んだ金を蓄えて、どうするのよ!! 保育園作ってよ! 働けないじゃないのよ!とお母さんたちの悲鳴が聞こえないのでしょうか。国保会計への繰り出し金も削減され、4月から国保税も介護保険料も大幅に値上げされますので、二人で思い切り反対討論しました。

公用車の廃止

今回は一般質問でも市長・議長・教育長の公用車を廃止し(3人で年間1470万円)、その分で小中学校の教職員の駐車料金の徴収(772人から年間834万円)を廃止するように訴えました。

市長も教育長も忙しいのは分かりますが、先生達だって忙しいのです。毎日の授業は勿論、休日返上で仕事をしている先生方が沢山います。県の職員である教職員から駐車料金を徴収している市は県内で3市しかありません。新座市の教育レベルを上げる為には、教職員の待遇改善が絶対に必要です。

「財政難」を理由に教職員から年間18000円の駐車量を徴収することには断固反対です。



1月4日から1か月の間に救急車に3度お世話になった母子です。大正女は本当に強いですね。消防隊の方たちと母さんの笑顔に感謝、感謝!!

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

新宿区立西戸山小中学校卒。超がつく悪ガキが中二で最高の先生、友達と出会って人生が180度変わる。都立石神井テニス部から北海道大学庭球部を経て1977年、新設校の新座五中に赴任。3年4組の担任となる。五中、六中では子ども達とテニスに燃えたが、実は「授業・クラス人間」だった。写真は初めて全国優勝した時の六中テニス部NO1の邦彦と朝の東久留米東口で。

五中時代に子ども達とはじめた「朝勉」六中時代にやった「夜勉」の楽しさと効果が忘れられず、新堀で中学生と高校生の為の「たかやん塾」を開設。

現在は石神三丁目で小中学生と「たかやん塾」で日々学んでいる。議会では「学力」「PTA」「睡眠負債」など、教育問題を中心に問題提起している。

好きな言葉は「一生懸命」「経世済民」(世の中をよく治めて、民を救う)民のことを全く考えず、自分の仲間、友達には便宜を図り、米国やグローバル企業に追従するしか能がなく、経済、外交、安全保障、教育にも弱い安倍政権が大嫌いである。

「たかやんの応援団」で検索してくださいね。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ フラック校則

全国でブラック校則が問題になっています。新座市内の小中学校では問題となるような校則はないでしょうか。3月議会でそういう質問をしました。僕が子ども達から聞いた「意味が分からない校則」は次の通りです。みなさんはどう思いますか。

中学校

1. 学年によって昇降できる階段が違う。他学年の教室は勿論、廊下にも入れない。
2. 女子は夏もベストを着用する。男子はベストを着られない。セーターは着てもいいが、卒業式には着てはいけない。→暑い夏にベスト？
3. ヒートテックは白のみ。(下着の色が決められている。)→何故黒はいけないの？下着の色だよ！
4. 8時半までにバッグをロッカーに入れて、本を読まないと遅刻になる。→誰が決めたの？
5. 朝読書の時間に勉強してはいけない。→？？
6. 学校に教科書を置いて帰ってはいけない。→？
7. スカートの長さが決められている。→？？？？
8. お団子ダメ、三つ編みダメ、肩についたら結ぶ。
9. 前髪が眉毛にかかると「切れ」と言われる。→？
10. クラスによってトイレが決まっている。→？？？

小学校

1. 廊下で話していると怒られる。→？？
 2. 中休みは外で遊ばないと怒られる。→？？
 3. 匂い付き、色のついた消しゴムは駄目。→？？
 4. 付箋、ボールペン、シャーペンは駄目。→？？
 5. 短いスカートを履いていくと怒られる。→？？
- ＊21年間、新座の中学校で子ども達と生きてきた僕の意見を言います。ここに書いてある校則のどれもが異常です。僕らの時代にはなかったものが殆どです。(スカートの長さに拘る教師はいましたが、昔も今もどうでもいいことです。)

小学校にまでおかしいルールが蔓延していることに驚きます。先生方は「匂い付きの消しゴム」や「色付き消しゴム」を商品化した人たちの苦労は想像できないのでしょうか。「授業に集中できなくなるから」というのが理由のようですが、それは授業が下手糞な言い訳ですか？授業で子ども達を引き付ける先生は子ども達の格好や持ち物などには拘らないものです。本物の先生が拘るのは子ども達の表情と目の輝きだけなのです。違いますか？

③ 指定バッグ

学校指定のバッグは本当に必要でしょうか。成長期の中学生たちにとって、体に合わないバッグを背負って登下校することは、腰痛や脊柱側弯症を引き起こす原因になります。

林間学校や修学旅行には別のバッグで行かなければならず、親の負担もバカになりません。

都内の中学校は勿論、県内でも学力が高い市ほど通学バッグは自由です。新座の全ての中学校が「指定バッグ」であることに大いに疑問を感じています。「高くて使い辛い」という声が多く、「指定の業者が儲かるだけのこのシステムは直ぐにでもやめることが出来るはずですよ。今使っているバッグも含めて、自由にすべきでは？」教育長にそう質問しました。いつもは意見がぶつかり合う教育長も「学校指定品の時代ではない」「2月7日、各校に通知を出した」「独占禁止法に触れる可能性がある。緩めていいだろう」そう答弁し、理解を示しました。

先生達を業者との癒着から守る為にも、子ども達の健康の為にも、新年度からは「学校指定バッグ」から子ども達を開放してやりたいものです。

③ そんなバカな・・・

10年いた五中から六中に異動した時に、1年2組の子ども達の靴を見て驚きました。みんな同じ靴を履いていたのです。『お揃いじゃん！』と言うと、子ども達は「何言ってるの？学校指定の靴だよ」と言いました。(六中はどれだけ田舎なんだ！)と、僕は思いました。指定靴は「足に合わなくて痛い」と子ども達は言いました。そこで、僕は考えました。

113人いたテニス部の1年生全員に「明日からテニスシューズで登校しろ！」という指令を下したのです。「校則違反」を教師が強要したのですから、ふざけてます。子ども達は「校則」よりも「顧問」の言葉に従いました。100人以上のテニス部の生徒がテニスシューズを履いて登校した結果、一瞬で六中から「学校指定の靴」は消えていきました。色々と煩い先生はいましたが「子ども達の健康が一番」「靴に足を合わせる時代ではない」「部活の靴も買わなくてはいけないのだから、親の負担も考えましょうよ」という僕の意見が最終的には認められた形になりました。昔々のお話です。(笑)